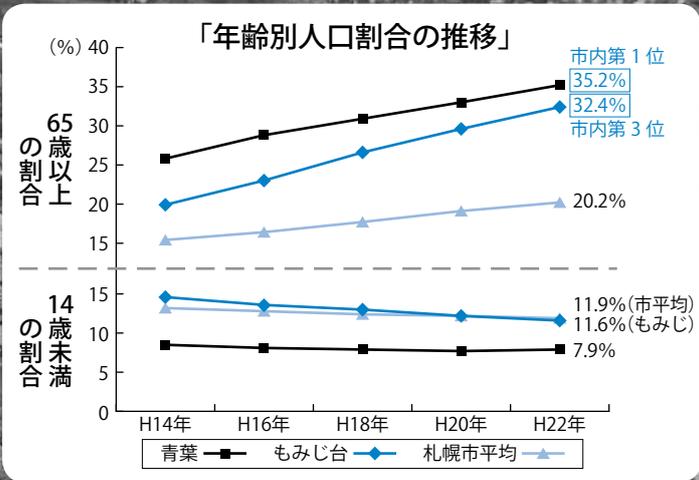


域で、安心して暮らしたい

『青葉』と『もみじ台』



もみじ台地区

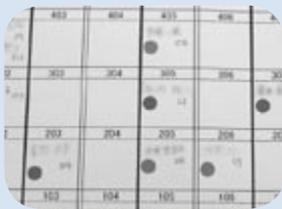
昭和43年から55年にかけて造成された住宅団地です。青葉地区同様に少子高齢化が進んでおり、もみじ台地区でも、地域の大きな課題になっています。

各年代の人が気軽に集まれる『もみじ台地域の大広間』をはじめ、見守りマップの作成、孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業など新たな取り組みも始まっています。

見守りマップ

住宅地図などを用いて、高齢者世帯や見守り活動者の情報を落とし込んだマップを作成。

これを基に自治会内の現状を把握し、今後の見守り・安否確認や災害時の対応などの活動を協議・検討しています。



▲マップ



▲マップ作製の様子

地域の大広間



写真：地域の大広間

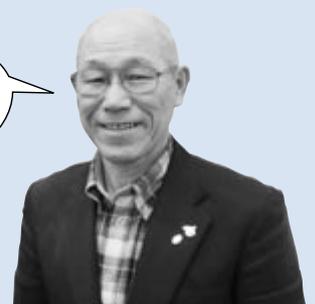
もみじ台中学校の生徒が、「お年寄りや子どもたちがイベントを通じて世代交流を」と提案したのがきっかけで一昨年から開催。もみじ台まちづくり会議など地域のさまざまな団体が実行委員会を組織し、北星学園大学や札幌市立大学の学生らも協力して楽しい企画を用意。フロアカーリングや健康チェック、ステージ発表などで会場はいつも大盛り上がりです。

孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業

配食・配達サービスなどの民間業者が、配送の際に高齢者の安否などを確認する取り組みです。既に地元のスーパーなどが行っていますが、今後さまざまな業者が参入して地域と連携を図っていくためのモデル地区に指定されました。



もみじ台地区では、みんなが協力し合い、いろいろなことに参加できる体制を築いていきます。



もみじ台地区
民生委員児童委員協議会 会長
のむらひでお
野村 秀雄 さん

【問い合わせ先】

孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業
さっぽろ孤立死ゼロ推進センター・・・☎011-708-8686

